

### 3 資料を活用する思考・判断・表現

学習日 /

- 1 下の図は、ある地区における電力使用状況を調べ、昨年8月の日ごとの最大電力をヒストグラムに表したものである。また、表1は同じ地区における昨年9月の日ごとの最大電力とその平均値(小数第1位を四捨五入したもの)を示したものである。これについてあとの問いに答えなさい。 (鹿児島)

図 8月の日ごとの最大電力

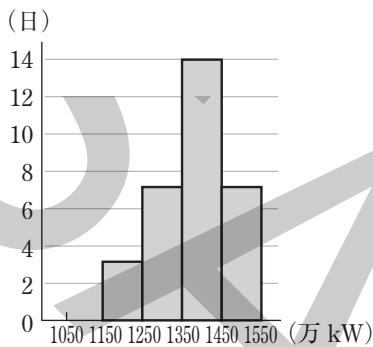


表1 9月の日ごとの最大電力(単位は万kW)

1日	1178	7日	1367	13日	1364	19日	1119	25日	1122
2日	1186	8日	1200	14日	1334	20日	1115	26日	1127
3日	1308	9日	1192	15日	1239	21日	1105	27日	1141
4日	1375	10日	1271	16日	1121	22日	1008	28日	1143
5日	1286	11日	1281	17日	1133	23日	993	29日	988
6日	1318	12日	1310	18日	1168	24日	1080	30日	970
9月の平均値は1185万kW									

- (1) 図において、階級の幅、最頻値(モード)をそれぞれ求めなさい。

- (2) 9月の日ごとの最大電力について、表1をもとにして右の表2の **a** , **b** に適当な数値を入れて度数分布表を完成させなさい。また、9月の日ごとの最大電力の中央値(メジアン)を表1から求めなさい。

表2 9月の日ごとの最大電力

階級(万kW)	度数(日)
以上 950 ~ 未満 1050	4
1050 ~ 1150	10
1150 ~ 1250	6
1250 ~ 1350	<b>a</b>
1350 ~ 1450	<b>b</b>
計	30

- (3) 下のア~オは、8月と9月の日ごとの最大電力について述べたものである。この中で適切でないものを1つ選び記号で答えなさい。また、その理由を根拠となる数値を用いて書きなさい。

- ア 8月では、中央値を含む階級の度数が最も多い。  
 イ 9月の1150万kW未満の日の相対度数は0.40以上である。  
 ウ 9月の平均値を表2から求めたとき、表1の平均値との差は3万kWより小さい。  
 エ 9月の分布の範囲は400万kW以上である。  
 オ 8月と9月の中央値を含む階級の相対度数を比べると、8月の方が小さい。